

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	“コンパクトヴィレッジ山形村” 地域の賑わい創出のための産業振興事業
事業主体 (連絡先)	山形村商工会 東筑摩郡山形村2025-8
事業区分	(6) オ その他地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1,691,196円 (うち支援金: 1,310,000円)

事業内容

山形村の商工業者の商品や製品、農産物を含む特産品を広く村内外に宣伝・紹介、販路開拓を図るため、「山形じゃんずら」や「道祖神と新そば祭り」に合わせ「山形村産業フェア」を開催し地域の賑わいを創出する。

「第34回山形じゃんずら」と同時開催
 ・「ミニ産業フェア」【飲食関係出展】の開催実施
 (8月14日) 出展企業数9社

「第29回道祖神と新そば祭り」と同時開催
 ・「第3回山形村産業フェア」の開催実施
 (11月11日) 出展企業数20社



【第3回山形村産業フェアの様相】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 備品類等 (テーブル・テント) を補充・整備することで、総合案内所の設置、イートインコーナー (休憩所) の増設、出展企業に対する対応が可能となり、充実した会場設営が可能となった。また、各種チラシを作製することにより、PRに繋がりに来場者の増加及び出展者の売上増加となった。
- ② 宣伝効不足を補うため、出展者のパンフレット (PR、販売・展示品等内容等) を作製し、会場案内に役立てることが出来た。また、ポスターの内製化によりスムーズに周知することができ、会場への集客に繋がった。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

この産業フェアに対して、出展者の満足度は高く来年度は更に出席者数が増加することが予想されている。継続開催させるためには会場設営関係等の創意工夫が今以上に必要となってくる。また、来年度は工夫をして来場者へのアンケートを実施しマーケットインの情報得て出展者の経営に役立てていくような産業フェアに取り組む。

【目標・ねらい】

- ①会場内の備品類充実による継続開催の実現
- ②村内商工業者等の販路開拓・拡大を目指したPR活動

※自己評価【B】

【理由】

- ・出展者に対するアンケートによれば出展した満足度・自社PRの場としての満足度は非常に高い。
- ・本会として、継続開催に向けて会場設営等の課題が残った。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
 「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた
 「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある